

学校給食用食器検討委員会の検討概要

第1回検討委員会（平成24年2月14日）

- ・ 箸については、他の市町村が使っているものを調査して、安全性も含めて次回以降検討することとなった。

第2回検討委員会（平成24年 3月22日）

- ・ 道内の1000食以上の共同調理場における箸の材質等の調査結果資料について説明した。
- ・ 持参について検討した。
- ・ 道内他市で使用している箸について検討した。
- ・ ペット箸と竹箸の二つに絞って安全性等の資料を提示してもらって検討することとなった。

第3回検討委員会（平成24年 4月26日）

- ・ ペット箸の安全性について検討した
- ・ 委員が日本製の竹箸のサンプルを持参し候補として提案された。
- ・ 提案の竹箸について検討した。
- ・ 次回委員会までに、竹箸の洗浄・乾燥を実施して、結果を見て検討することとなった。

第4回検討委員会（平成24年 5月22日）

- ・ ペット箸の安全性について検討した。
- ・ ペット箸と竹箸の単価と年次的なトータルコスト比較を説明した。
- ・ 3週間ほど箸を実際に毎日水に浸けて、その後センターの消毒保管室で乾燥（消毒）したものを各委員が触ってみた。
- ・ ペット箸と竹箸のコストを比較検討した。
- ・ ペット箸に含まれる充填剤について、メーカーに成分を確認することとなった。
- ・ 竹箸について、実際に給食センターで2か月間使うこととした。

第5回検討委員会（平成24年 7月30日）

- ・メーカーから、充填剤は企業秘密であるため、公表できないとの回答があった。
- ・2か月使用した箸の状況については、箸の先端部分に黒ずみと若干の曲がりが見られたが、ざらつきはなくなったように感じた。良し悪しについては委員間で意見が分かれた。
- ・今年度できれば結論を出して箸を替えて行こうという考え方だが、それが1年遅れても、かまわなければ、1年程度試用して、ある程度結果が出た段階で結論を出すこととする。
- ・小皿については強化磁器ということで、前の委員会で決まっている。箸については、PET箸と竹箸の候補があがって、どちらがいいという意見もあったのだが、竹箸を1年なりの一定期間使って様子を見て結論を出すこととする。
- ・事務局でその内容を案として文書で作成し、次回委員会前に各委員に送付する。
- ・次回委員会で最終案を決定する。
- ・試用は小学校中学校各1校とする。

第6回検討委員会（平成24年10月15日）

- ・竹箸を1年程度試用した後には竹箸かPET箸のどちらかを必ず選定するための確認事項を提出し説明した。
- ・検討の中で、箸の試用期間について、平成26年度から新しい箸を使用するため、竹箸の試用期間の短縮について提案があり賛成された。試用期間を冬休み前までとして、平成25年度中の購入を図ることとした。
- ・竹箸の試用校第三中学校及び大麻小学校にお願いすることとした。

報告書の提出（平成24年10月29日）

- ・学校給食用食器検討委員会の岩田委員長及び川瀬副委員長から月田教育長に検討委員会の意見をまとめた報告書を提出、説明した。

食器の承認・選定（平成24年11月21日）

- ・上記の報告書の提出を受け、教育委員会において、学校給食用食器の小皿については、『強化磁器』が承認、選定された。（パブコメは、不要となった）

【箸の再検討】

第1回検討委員会（平成25年10月22日）

- ・竹箸の試用校第三中学校及び大麻小学校の感想、意見としては、使いやすさということで、軽くて使いやすい等、竹箸が良いという意見が多数を占めていたが、慣れたプラスチックの箸が良いという意見もあった。
- ・ささくれについては、気にならなかったという感想が多いが、ささくれがあったという児童の感想と最初の頃はささくれの破片がたくさん落ちていたという感想があった。
- ・着色についても気にならなかったという感想が多い中、黒ずんでいる、着色があるとの感想もあった。
- ・曲がりについても気にならなかった、なかったという感想が多い中、一部の児童及び教諭の中に曲がってきているとの感想があった。
- ・竹箸の価格と製作方法及びPET箸の価格について説明した。
- ・各委員から意見が出された。
- ・意見が分かれているので、もう一度委員会を開催し、次の機会には今揺れている人たちもどちらかに意思決定することとした。

第2回検討委員会（平成25年11月12日）

- ・各委員からPET箸と竹箸のどちらが良いと考えるか意見を述べた。（以下のとおり）
- ・安全面、コスト面を総合的に考えPET箸である。
- ・PET箸が良いと思う。PET箸を使うのが嫌なお子さんは、ご家庭で納得した箸を持参するということが良いと思う。
- ・PET箸が危険と判断できない限り自分としてはPET箸でお願いしたい。
- ・黒ずみや変色が汚れているのではないかと学校からのクレームの対象になる。私としてはPET箸の方を入れていただきたい。
- ・衛生管理を第一に考え、竹箸よりもPET箸を子供に使わせることに賛成したいと思う。どうしてもPET箸が気になるご家庭は箸を持参し、従前どおりクラスの数分の箸を用意することで箸を忘れた場合対応できるようにしておいてはどうかと考える。
- ・コスト面を見ても歴然の差で、安全面で考えれば竹箸の方がいいのかなという気もしないでもないのですが、現実的な話の中で、やはりPET箸という選択になってしまう。
- ・コスト重視に考えたのですが、費用の面からみるとPET箸の方が望ましいのではないかと思います。
- ・皆さんのいろいろな意見を聞いて、共通することがあるなと思うのですが、私は皆さん

の意見とは違って、やはり竹箸の方を勧めたいと思う。多少お金がかかるかもしれませんが、色々な意味で教育ということも考えると、是非、竹箸の方を選んでいきたいというふうに思う。

- ・同じく竹箸と思う。給食の食材もそうですけれども食器もお箸もそういう安全なものを是非、使っていただきたい。
 - ・竹箸は使いやすいというのは重々わかるのですが、黒ずみ、染み込みや菌形などを勘案するのと、竹箸の良さは認めつつも、給食用に現段階ではそぐわないのかなという判断をする。よって、今回の判断ではPET箸かなというふうに思う。
 - ・最初は竹箸がいいと思ったのですが、私が一番気になったのは菌形でした。選ぶのであればPET箸である。
- ・ 検討した結果、江別市給食用食器の箸については、PET箸に決定するとの意見をまとめ、教育長に報告することとなった。

報告書の提出（平成25年12月12日）

- ・学校給食用食器検討委員会から月田教育長に検討委員会の意見をまとめた報告書を提出、説明した。

食器の承認・選定（平成25年12月25日）

- ・ 上記の報告書の提出を受け、教育委員会において、学校給食用食器の箸については、『PET箸』が承認、選定された。

【平成31年度からの箸の更新に係る検討】

第1回検討委員会（平成29年2月28日）

- ・ 学校給食用箸が、PET箸に選定された経緯について主な検討内容等を含め説明
- ・ 平成24年2月14日から計8回の江別市学校給食用食器検討委員会での、検討会議を経てPET箸に選定
- ・ 平成24年度以降の学校給食用食器購入について説明。
- ・ 道内調理場における箸の支給状況について説明。
- ・ 箸支給で1,000食以上の道内共同調理場23調理場における箸の材質調査結果について説明。